

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成18年11月24日(2006.11.24)

【公表番号】特表2006-504741(P2006-504741A)

【公表日】平成18年2月9日(2006.2.9)

【年通号数】公開・登録公報2006-006

【出願番号】特願2004-543508(P2004-543508)

【国際特許分類】

A 6 1 K 31/498 (2006.01)

A 6 1 P 25/16 (2006.01)

A 6 1 P 25/28 (2006.01)

C 0 7 D 403/12 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 31/498

A 6 1 P 25/16

A 6 1 P 25/28

C 0 7 D 403/12

【手続補正書】

【提出日】平成18年10月5日(2006.10.5)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0084

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0084】

尾懸垂試験

尾懸垂試験において、MPTP処置の前に有意な群差は観察されず、MPTP後も後肢には認められなかった。MPTP0は、障害後の3時点の全てで、前肢の伸長を有意に損なった。したがってこの障害は時間と共に回復しない。プリモニジンは、該化合物が投与されている期間中は、この障害を減少させない。しかしプリモニジンは、投与後（すなわち14日間の化合物投与後）に測定すると、障害を減少させる傾向がある。